

Feature Articles

ローカル5Gで
社会課題を解決

- 8 Goolight
10 となみ衛星通信テレビ×島田木材×NECネッツエスアイ×AZAPA
12 ローカル5G事例
16 通信・放送Week 2021

Special Report

- 6 「ディスカバリーチャンネル × 国立天文台presents
国立天文台と学ぶ宇宙、そしてアルマ望遠鏡」

Special Topics

- 20 関電工 × ネクストキャディックス
54 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)

Special Report

- 36 「サテライト国際会議・展示会2021」 取材・文/神谷直亮

セミナー情報

- 21 サテマガBi オンラインセミナーのご案内
災害・緊急時のBCP対策
～AI・ビッグデータを活用した情報検知でリスクの芽を摘み取る～

2021
10
OCTOBER

Series Articles and Columns

- 22 放送ビジネスの政治経済学 ⑤4 文/音 好宏
24 メディア・リサーチ「IT・デジタルで勝つ」(上) 文/鈴木祐司
26 メディアまんだらげ ⑤0 「豊かな生活を送るために支払う代償」取材・文/猪股英紀
30 地産飛翔～ケーブルビジネス関連動向
(気になるトピック / 機器チェック! / 松平健のケーブルテレビ漫遊)
38 アジア衛星TV最新情報 ⑤3 文/長瀬博之
40 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
45 Official Information
スカパーJSAT / 衛星放送協会 / 日本ケーブルテレビ連盟 / 日本CATV技術協会 / 日本ケーブルラボ / CRI
51 Information 新作映画紹介 & Convention
52 考えるメディア ⑤5 文/福田 淳
53 ワハハ本舗 喰始のエンターテインメントのツボとボツ ⑤7 文/喰 始
55 NEWS FILE 2021年8月31日～9月30日
61 料理研究家 吉原ひろこのラクルールcooking
「@いう間の“変わりぶり大根”」レシピ/吉原ひろこ

DATA

- 34 CS-CHANNEL RANKING
63 定期購読のおすすめ
64 購読オーダーシート
65 Back Number



〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSバイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、2021年10月10日に弊社HP (<http://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2021年10月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子/編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



メディア融合時代到来!

【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて

CLOSE SHOT

アニメの制作支援拠点「Netflixアニメ・クリエイターズ・ベース」開設

Netflixは9月10日、クリエイターやアニメーション制作会社などのパートナーへの支援強化に向けた新拠点「Netflix アニメ・クリエイターズ・ベース」を、東京・港区六本木のNetflix東京オフィス内に開設した。Netflixが独自に開発・配信するアニメ作品に関するデザイナーやクリエイターなどの才能が集まるコミュニティとなり、長期的に



デザイナーズ・ガレージ



ライターズ・ガレージ



ラボ

アニメーション制作のツールや技術の進歩を広く支援することを目指している。Netflix アニメ チーフ・プロデューサーの櫻井大樹氏は「開設当初は、コンセプトアートのデザイン開発に注力し、制作過程の根幹であり最終的な映像の土台となるプリプロダクションのさらに前段階を強化したい」と語る。同施設は、コンセプトアートの開発や、

作品開発の初期段階の制作過程をサポートする[デザイナーズ・ガレージ]、シナリオや脚本の打ち合わせなど、新規作品のブレーンが集まる

Netflix アニメ チーフ・プロデューサー
櫻井大樹氏



[ライターズ・ガレージ]、VRやモーショントラッキング等の最新技術が試験的に使用できる[ラボ]、以上3つの空間で構成されている。

アニメ作品は現在、Netflixで年間1億2,000万世帯以上で視聴され、100の国や地域でTOP10に入る人気ジャンルとなっており、2021年は約40作品のアニメ作品を配信予定している。Netflixでは、この「アニメ・クリエイターズ・ベース」を拠点に、今後もアニメクリエイターの支援を強化していく。